

上 笹 下 地 区 連 合 町 内 会

自 由 記 載 欄

問4 最近気になること、心配なこと

50歳代	人口の密集地域では近所の範囲が狭く、距離は近いのに個人情報が得にくく、地域活動が難しい。
------	--

問5 自身のことで、困っていることや手助けがほしいこと

	回答なし
--	------

問6 地域に困っている人がいた時、協力できること

	回答なし
--	------

問7 参加してみたい地域活動

60歳代	精神保健ボランティア、身障者へのボランティアやサークル活動について詳しく知りたいと思っています。
------	--

問8 地域活動に参加したきっかけ

40歳代	P T A 活動
------	----------

問9 地域活動に参加又は継続するために必要な条件

	回答なし
--	------

問10 あなたの町で自慢できること

40歳代	あまり感じない。
------	----------

問11 知っている団体及び名称

60歳代	ふれあい昼食会
------	---------

問12 地域情報の入手手段

	回答なし
--	------

問14 「誰もが幸せにくらせるまち」づくりを達成するために、どのようなことに取り組んでいくことが必要か

70歳代	町内会館を大きくしていただきたい。いろいろなサークルができない。
40歳代	高齢者のいう世帯をみんなが見守り助け合う。デイサービスのセンターなどの施設の充実も大切だが、在宅のケアをいかにみんなが連携してできるか、これからもっと必要なのでは？
60歳代	高齢者、一人暮らし世帯の把握。
60歳代	近隣の人々たちとの親睦を計ることと、あいさつや声かけをすることが第1歩であると思います。又、自分の家が家内安全で有る事から他への思いやり等の働きかけが出来るのではないかと考えていますので、家人の後方支援も大事だと思っています。
50歳代	福祉保健には人手、コストがかかります。このための基本的な考え方を話し合ってもらいたい。例えば、専門ボランティアの育成とその方策。ポイント制の導入。健康なシニア層の参加支援。医療費の透明化と、医療費負担、一部自己責任化(リスクを高める、たばこ、酒、健康管理の程度による。保険料の割増し制度等)

問15 磯子区役所の各課や社会福祉協議会が取り組むべき事柄で気づいたこと

60歳代	高齢者、一人暮らし世帯等の実態調査と結果に対する支援の具体化
60歳代	福祉課5Fや社協とはなんとなくなじみが無いです。いつも思うことは、受け身ではなく、特に役所等に関しては、こちらから働きかけなければ一歩も進まないと思うことです。でも関係に出向くことは、大事な事だと思うと共に民生等の委員の方は「傾聴」の技術等を習得する様なればと思います。

問16. あなたの町で、こんな取り組みがあったらいいと思うこと

70歳代	ハイキング、グループ、観劇、歴史探訪。
40歳代	・地元の地域の歴史や自然を勉強する会。 ・クリスマスツリーなどのイルミネーションなどはなくてもよいと思う。 (あってよいものもあるが、この町内会のはあまりなくても・・・)
60歳代	子供も親も皆が挨拶する町。
60歳代	挨拶を交わす町。
60歳代	特に思い浮かびません。一つの取り組みや行事をするには大勢の人々の力が必要だという事が。又、文句を言うなら、協力する、感謝する気持ちが住民が持つ事からが第1歩になると思います。そんな簡単には出来ないと思います。
40歳代	お年寄りの多い町だと感じるが、新しく越して来た人たちにとっては、そういう人たちとの交流もなく何か手助けをしてあげたいと思っても、相手が心をひらかなかったり…というのが現状で一般の人間が簡単に入り込める領域でないような気がする。